

新型コロナウイルス感染防止対策・来学時留意点メモ（202006）

『うつらない工夫 うつさない配慮 人間の尊厳のために ～南山大学～』

[文部科学省指針:令和2年度大学等の授業等について（通知）]（抜粋）

日々の学校現場における「3つの条件が同時に重なる場」を避けるため、

- ① 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底
- ② 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- ③ 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える

など、保健管理や環境衛生を良好に保つような取組を進めていくとともに、咳エチケットや手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底することが重要である。

[政府:新型コロナウイルス感染症対策本部による基本的対処方針]（抜粋）

以下の3つの「密」を避ける。

- ① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- ② 密集場所（多くの人が密集している）
- ③ 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

上記3つの条件がそろう場所が「クラスター発生」のリスクが高い。

<各感染経路と基本的な予防策>

	感染経路	予防策
1	飛沫感染 (1m以内の距離)	マスク着用（感染者と周囲）。咳エチケット。 大声で話さない。離れて座る。
2	接触感染	マスク着用。手洗い。消毒。
3	空気感染 (1m以上離れて) マイクロ飛沫感染	感染者のマスク着用。換気。静かに話す。 離れて座る。

【通学前】

(1) 検温ならびに体調管理

⇒体温が37.5度以上もしくは体調不良の場合は、通学を控えましょう。

(2) 感染防止品の準備（マスク等）

⇒マスクやポータブル消毒液、ハンカチなどの携帯を確認しましょう。



【通学後】

(1) マスク着用

⇒通学時から授業時、帰宅時まで、マスクを着用しましょう
(熱中症の時期は、気分不快等の場合、マスクをはずしてもかまいません)。

(2) 手洗いならびに手指消毒

(液体石けん使用による手洗い、水が使えない場合は手指消毒)

⇒こまめに手洗いをしましょう。
⇒こまめに手指をアルコール消毒しましょう。

(3) 換気

⇒授業時も可能な限り常時、2カ所以上の窓を開けましょう。
(強風や雨天時は休憩時間のみ換気)。
⇒Q2 開講期間は、蒸し暑くなる時期であり、冷房を起動した状態での換気がやむをえませ
ん。
(環境保全やエネルギー消費の観点からは逆行しますが、熱中症による体調不良者を出さ
ないため。⇒水分補給の励行)

(4) 授業時の着席間隔保持

⇒教室では少なくとも1席ずつ空けて着席しましょう(可能な限り、2m空ける)。
対面になる場合は、1席ずらして斜めにて対話しましょう。
(場合によっては、担当教員がフェイスシールドを装着する[近距離での講義でなけれ
ば、マスク着用で対応可])

(5) 飛沫・接触感染防止

⇒各教室棟の手動式開閉扉は、換気も兼ねて、可能な限り「開けたままの状態」にしまし
ょう(各教室に適宜、ドアストッパーを設置・ドアノブを通じての接触感染防止)。

(6) 体調不良者対応

⇒発熱の症状のある方等は、052-832-3437 保健室までお電話ください。学校医もしくは看
護師が保健室外のメインストリート(屋外)にて問診します。

以 上

